

【修理を依頼する前に「故障かな?!と思ったら」(P.29)をご確認ください!】

修理・取り扱いのご相談は  
**まずお求めの取付店・販売店へ**

取付店	〒		印
販売店		電話	—

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

**東陶メンテナンス (株) へ**

**TEL ☎ 0120-1010-05**

**FAX ☎ 0120-1010-02**

受付(年中無休)  
 受付時間: 関東・甲信越地区 8:00~20:00  
 上記以外の地区 9:00~20:00  
 訪問修理(年中無休)  
 営業時間: 9:00~18:00

**TOTOパーツセンターへ**

**TEL ☎ 0120-8282-55**

**FAX ☎ 0120-8272-99**

受付時間: 平日 9:00~18:00  
 土・日・祝日 10:00~18:00  
 (夏期休暇・年末年始を除く)

**TOTOお客様相談室へ**

**TEL ☎ 0120-03-1010**

**FAX ☎ 0120-09-1010**

受付時間: 平日 9:00~18:00  
 土・日・祝日 10:00~18:00  
 (夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご利用は  
(365日修理対応)

➡

補修用性能部品のご購入は

➡

その他(使い方などのお問い合わせ)

➡

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

再生紙を使用しています。

工事店さま  
へのお願い

貴店名ならびに据え付け引渡し日を保証書にご記入のうえ、お客様にお渡しください。  
 また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

### サーモスタットシャワー金具・バス水栓 (自動水止めタイプ)

TMF47型・TMG47型  
 TMJ47型・TMJ48型



安全上の注意…………… 1～6  
 各部のなまえ…………… 7～8

はじめに

ご使用前に…………… 9～11  
 つかいかた…………… 12～17  
 凍結予防のしかた… 18～21

つかいかた

■このたびは、TOTOサーモスタットシャワー金具・バス水栓をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
 この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■この取扱説明書は保証書付きですので大切に保存しておいてください。

日ごろのお手入れ… 22～26  
 定期的な点検…………… 27  
 定期的な部品交換のお願い… 28

お手入れ

故障かな?!と思ったら… 29～31  
 アフターサービス… 32～33

こんなときは



適量ラベル

保証書……………34  
 お問い合わせ先……………裏表紙



# 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



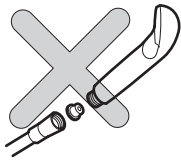
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性が有ることを示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

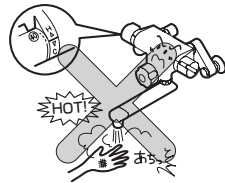
⚠ 警告		
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取り外しなどの改造はしない 商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 警告		
	小さい子供だけで使用させない やけど・けがをするおそれがあります。	
	この説明書に記載された項目以外は分解しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	本体左側および湯側取付脚に直接、触れない 給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。	
	高温の湯を使うときは、スパウトおよび水栓本体に直接、触れない スパウトおよび水栓本体は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。	
	湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめる 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。また、スパウトとシャワーの切り替えや、シャワー吐水状態の切り替えを行ったときに、温度が高くなることがありますのでご注意ください。	
	使う前に、スパウト側かシャワー側かを確認する 間違えると、不意に水をかぶったり、やけどをするおそれがあります。	

### 警告

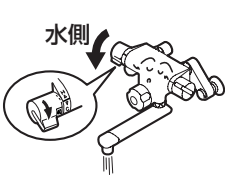
**温度調節ハンドルの温度位置を確かめて水を出す**

高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



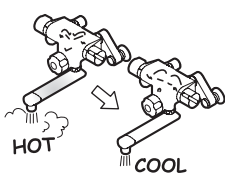
**高温の湯を使ったあとは、必ず温度調節ハンドルの目盛りを"40"以下に戻す**

次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



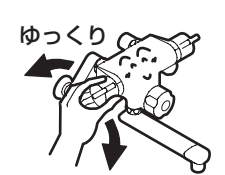
**高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流す**

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



**温度調節ハンドルはゆっくり回す**

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。



**定期的(年2回)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認する**

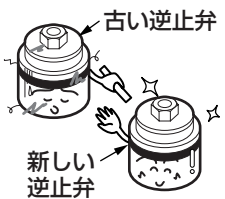
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



**逆止弁は安全を確保するために定期的に交換する**

(P.28を参照してください)

逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。



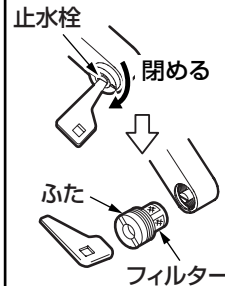
必ず実行

### 警告

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、壁付きタイプの場合は止水栓、台付きタイプの場合は元栓を閉めてから行う  
また、本体左側および湯側取付脚が熱くないことを確認する

(P.23を参照してください)

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

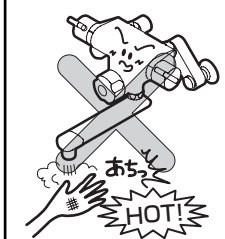


必ず実行

**給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧にする**

また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くする

給湯圧力を給水圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをするおそれがあります。



**万一、凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度があっているか確認する**

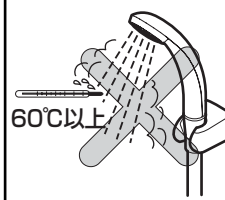
凍結すると、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



禁止

**シャワーには熱湯(60°C以上)を通さない**

シャワーヘッドが破損して、やけど・けがをするおそれがあります。  
安全のため、45°C以下でのご使用をおすすめします。



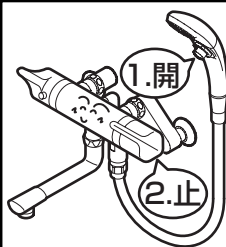

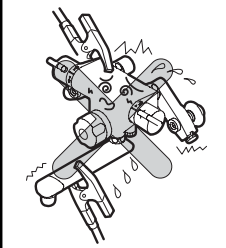

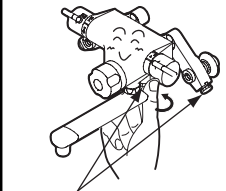
寒冷地用

**水抜コックは水抜き以外の目的で開けない**

水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



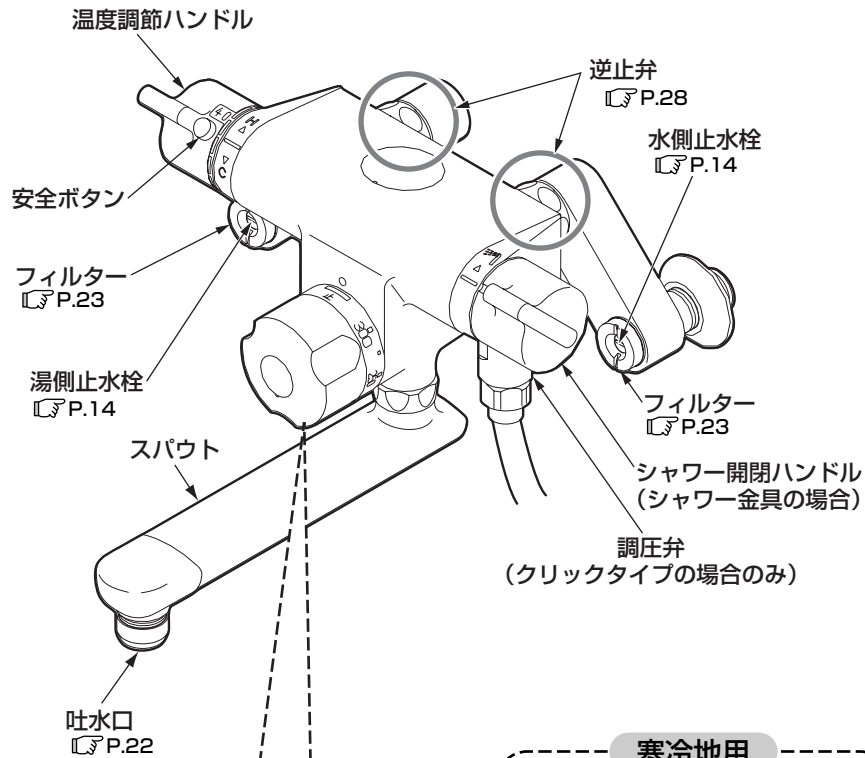
⚠ 注意		
 <b>禁止</b>	<b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 <b>必ず実行</b>	<b>シャワー開閉ハンドルおよびシャワー開閉ボタンはゆっくり操作する</b> 急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉める</b> 水漏れなど予想しない事故の原因になります。	
	<b>凍結が予想される場所で使用する場合は、P.18を参照し、凍結予防を確実にを行う</b> 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 <b>禁止</b>	<b>クリックタイプ</b> <b>クリックタイプのシャワーに接続されている調圧弁は外さない</b> 調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注意		
 <b>必ず実行</b>	<b>クリックタイプ</b> <b>入浴後は、必ずシャワーの開閉ボタンを"開"の状態にし、水栓の切替ハンドルで水を止める</b> シャワー開閉ボタンにて、長時間水を止めた場合、シャワー散水板から水漏れするおそれがあります。	
 <b>禁止</b>	<b>寒冷地用</b> <b>解氷機（凍結した水道管などに電流を流して解凍する装置）を使用する場合、水栓には通電しない</b> 水栓が発熱し、破損して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 <b>必ず実行</b>	<b>寒冷地用</b> <b>凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行う</b> (P.18を参照してください) 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	



# 各部のなまえ

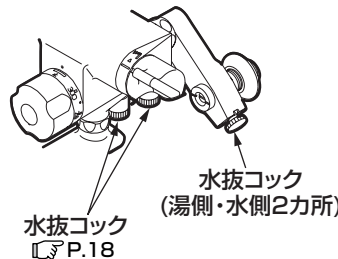
## 壁付きタイプ



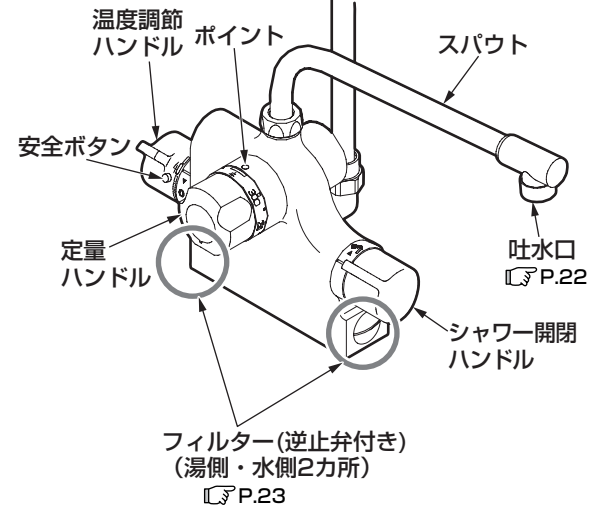
### 定量ハンドル

- ・希望湯量の目盛りに設定すれば、その量だけ水を出し、自動的に止まります。
- ・さし湯、さし水など通常の開閉ハンドルとしても使用できます。

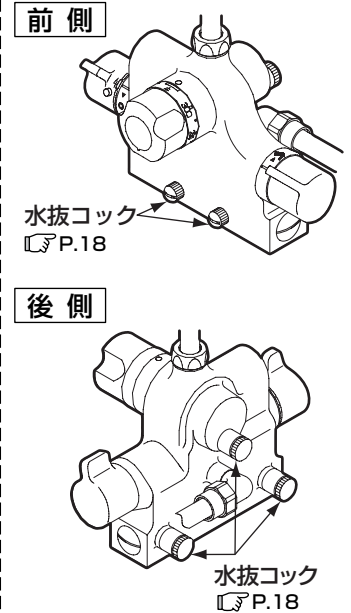
### 寒冷地用



## 台付きタイプ



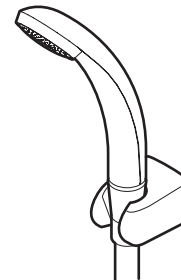
### 寒冷地用



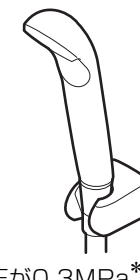
## シャワーバリエーション

※商品によりいずれかのシャワーがセットされます。

### スプレー



### 低水圧用



### クリック



※水圧が0.3MPa\*以上では使用しないでください。破損するおそれがあります。  
(\*MPa:水圧の単位)

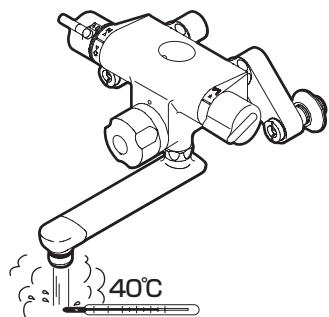
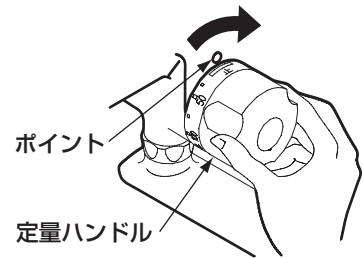
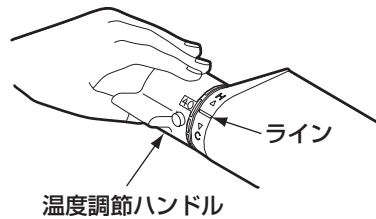
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※クリックシャワーのつかいかたはP.14の「シャワーのつかいかた」を参照してください。  
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# ご使用前に

## 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。



### 1. 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は吐水温度より10°C以上高く設定してください。

例えば、40°Cの湯を出したい場合、給湯機の設定温度は50°C以上に設定してください。

誤操作などによるやけど防止のため、60°C給湯をおすすめします。

### 2. 温度調節ハンドルの目盛り"40"をラインに合わせる。

### 3. 定量ハンドルを時計回りに回す。

スパウトから水が出ます。

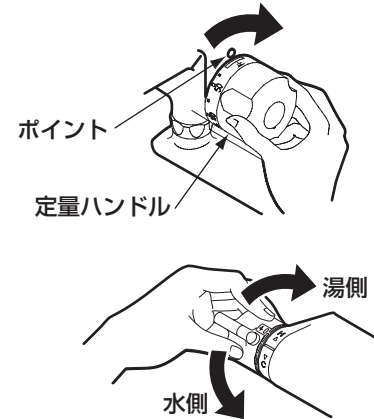
### 4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温（およそ40°C）であればそのままご使用いただけます。

吐水温度が適温からずれている場合は、P.10を参照し、設定し直してください。

## 温度調節ハンドルの設定

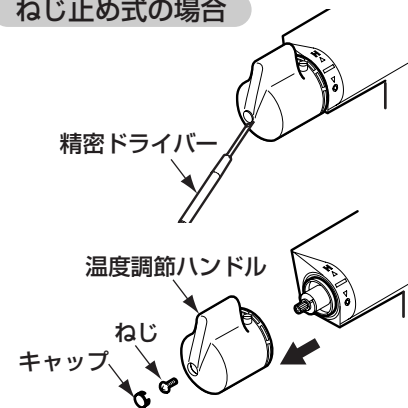
※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。



### ワンタッチ式の場合



### ねじ止め式の場合



### 1. 定量ハンドルを時計回りに回す。

スパウトから水が出ます。

### 2. 温度調節ハンドルを目盛り"40"に関係なく40°Cの湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

### 3. 温度調節ハンドルを外す。

#### ワンタッチ式の場合

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。

#### 豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を軽くたたいてください。

#### ねじ止め式の場合

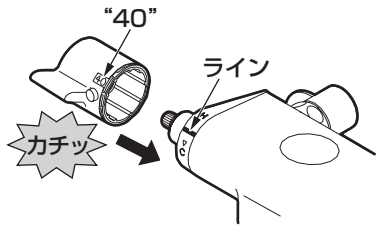
温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

#### 豆知識

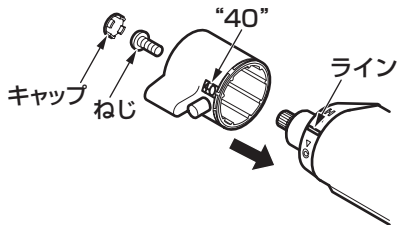
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。

# つかいかた

## ワンタッチ式の場合



## ねじ止め式の場合



## 4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

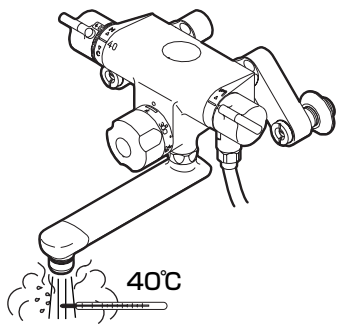
### ワンタッチ式の場合

目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

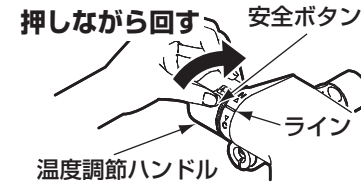
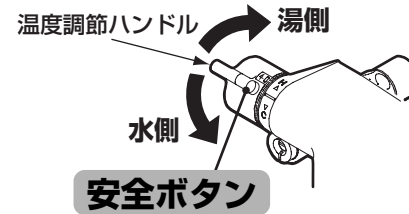
### ねじ止め式の場合

目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

## 5. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。



## 温度調節のしかた



## 温度調節ハンドルを回す。

目盛り"40"を目安とし、好みの温度をラインに合わせてください。

40℃以上の湯を出すには

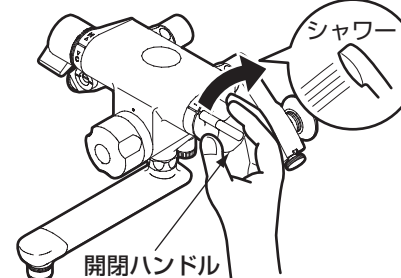
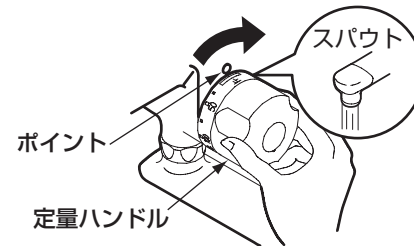
## 安全ボタンを押しながら回す。

安全ボタンを押して高温を使用された場合は、ハンドルを必ず目盛り"40"以下に戻しておいてください。

### 豆知識

誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

## 水(湯)を出す



## スパウト

## 定量ハンドルを時計回りに回す。

定量ハンドルを時計回りに回し、ご希望の目盛りをポイントに合わせてください。

120以下の目盛りに設定するときは、一度 ← 印以上回してから戻して設定してください。

※ハンドルの数値がおよその湯量を示します。  
(例: 150 = 150L)

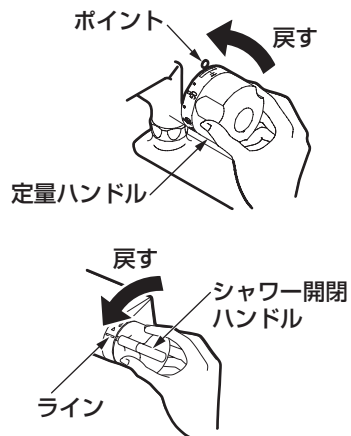
設定位置については一度湯をためてみて、浴槽の適量を確認してください。

## シャワー

## シャワー開閉ハンドルを上に戻す。

水が出ます。また、上いっぱいに戻すと流量が最大になります。

## 水(湯)を止める



### スパウト

定量ハンドルの目盛りがポイントの位置で"止"になるまで戻す。

水が止まります。

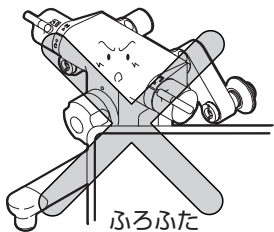
### シャワー

シャワー開閉ハンドルをラインの位置まで戻す。

水が止まります。

### 豆知識

- シャワーの水を止めたあと、シャワーからしばらく水が垂れることがあります。これはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるものです。数分間止まらないときは、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。
- 「ウォーターハンマー現象」とは、急に水を止めたときに「ドン」という大きな音がする現象で、水栓の不具合ではありません。配管の損傷や水漏れの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動吐水時は定量ハンドルの自動回転を妨げないでください。  
自動吐水時は定量ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。  
動きを妨げると、湯量が多くなったり自動止水しなくなります。  
(ふろふたなどが定量ハンドルに当たらないようにしてください。)



## クリックシャワーのつかいかた



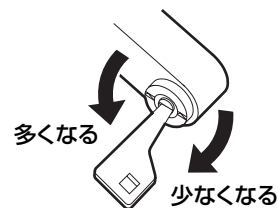
### シャワー開閉ボタンを押す。

シャワーを一時的に止めることができます。

- ※ シャワー開閉ボタンはゆっくり操作してください。ウォーターハンマー現象が発生する場合があります。
- ※ 入浴が終わりましたら、必ずシャワー開閉ボタンを"開"の状態にしたまま、水栓の切替ハンドルで水を止めてください。

## 止水栓による流量調節(壁付きタイプの場合)

開閉ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などに、止水栓でお好みの量に調節できます。



### 止水栓のねじを回す。

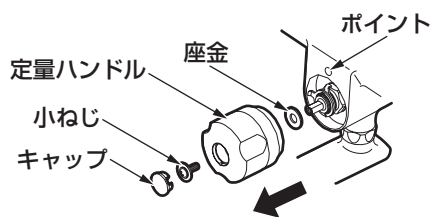
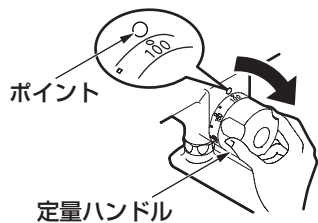
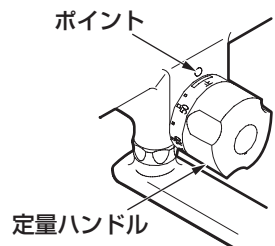
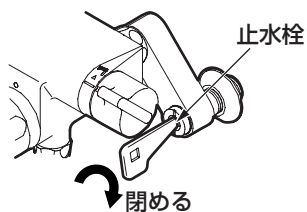
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

- ※ 流量を極端に絞らないでください。あまり極端に絞ると流量の感知精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。  
目盛り150(約150L)のとき、少なくとも30分以内で水が止まる程度の流量でご使用ください。



## 最大設定量の調節

定量ハンドルの最大設定量を目盛り250（約250L）に設定していますが、最大目盛り300（約300L）まで設定できます。また、最大設定量を調節しておく大変便利です。設定量を調節する前に、実際に浴槽へ湯または水をためて適量を確認し、次の要領で調節してください。

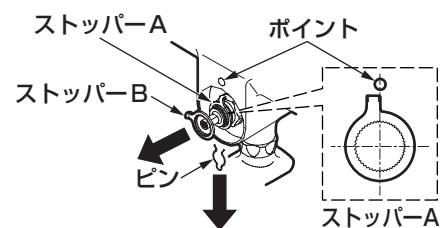


1. 止水栓または元栓を閉める。

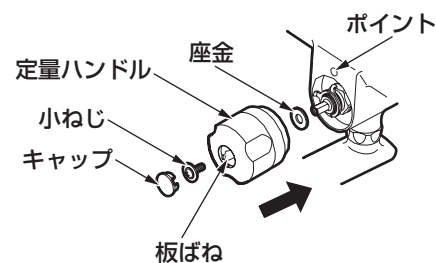
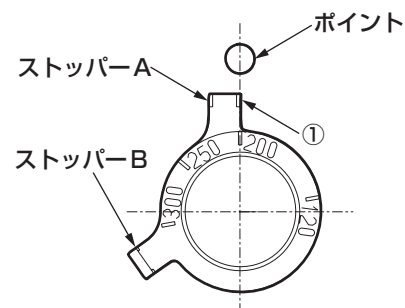
2. 定量ハンドルの目盛りがポイント位置で "止" になっていることを確認する。

3. 定量ハンドルの目盛り"100"をポイントに合わせる。

4. キャップ・小ねじを外し、定量ハンドル、座金を外す。



約200Lに合わせた場合



5. ピンを抜いて、ストッパー-Bを外す。

※このときストッパー-Aは外さないでください。もし外れた場合は、ポイントに対して図のように合わせて入れてください。本体に突起合わせのラベルを貼り付けている商品は、ストッパー-Aをラベルの位置に合わせて入れてください。

6. ストッパー-Bを適量にセットする。

ストッパー-Bの数字はおよその湯量(L)を示します。数字は50単位になっていますが10単位の設定が可能です。

ストッパー-Aの端面①とストッパー-Bの数字を合わせてください。

※ストッパー-Bを120以下にセットしないでください。自動止水しなくなります。

7. ピンをはめ、定量ハンドルを取り付ける。

※このとき座金を忘れると定量ハンドルが回らなくなることがありますのでご注意ください。

※定量ハンドルをはめ込むとき板ばねが出てくる場合があります。そのときはドライバーなどで元どおりに押し込んでください。

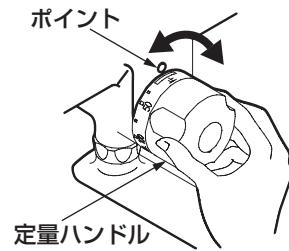
8. 止水栓または元栓を開ける。

# 凍結予防のしかた (凍結が予想される場所 でご使用になる場合)

## 豆知識

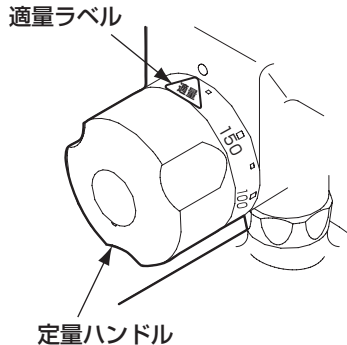


120 (約120L) 以下に設定するときは、**↺**印以上回してから設定してください。  
湯量を120 (約120L) 以下に設定するときは、必ず定量ハンドルを**↺**印以上回してからご希望の目盛りに戻して合わせてください。  
そのまま120以下の目盛りに合わせますと、自動止水しないことがあります。



## <適量ラベル>

最大設定量を調節しない場合でも、浴槽に湯をためるとき合わせる目盛りの上に適量ラベルを貼っておくと便利です。



表紙に添付している適量ラベルを設定量の目盛りの上に貼り付ける。

※貼るときは、表面の汚れや水分をよくふき取ってください。

- ◎水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。
- ◎凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- ◎凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、次の処置を実施してください。

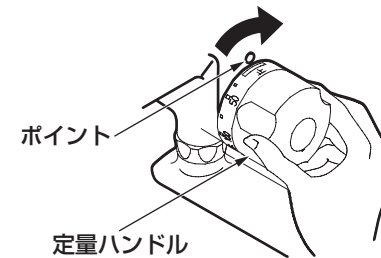
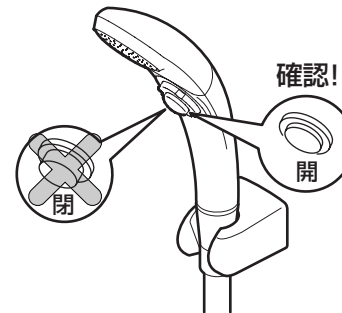
## 一般地用をご使用の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
- 配管部などに保温材を巻いてください。

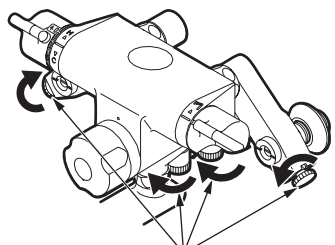
## 寒冷地用をご使用の場合

下記の手順に従って水抜きを行ってください。



1. クリックタイプ  
シャワー開閉ボタンが“開”の状態になっていることを確認する。
2. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。
3. 定量ハンドルを**↺**印以上まで回す。

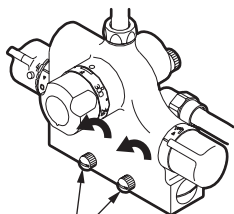
壁付きタイプ



水抜コック(4カ所)

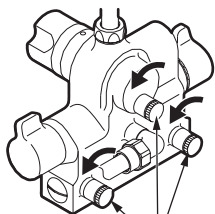
台付きタイプ

前側

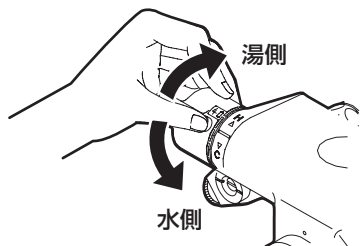


水抜コック  
(2カ所)

後側



水抜コック  
(3カ所)

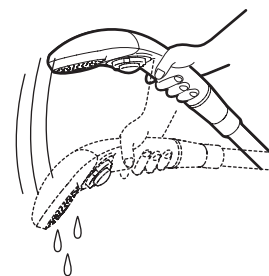
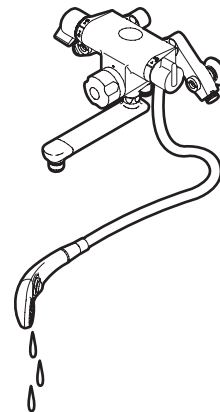
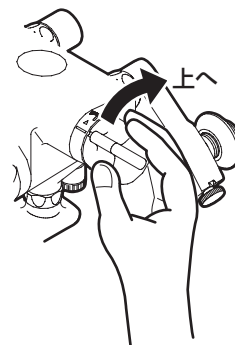


4. 水抜コックをすべて開ける。

水抜コックは、壁付きタイプの場合は4カ所、台付きタイプの場合は5カ所あります。

5. 温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱい回して水を抜く。

6. スパウトから水が出なくなったら、下(水側)いっぱい回して水を抜く。



7. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを上いっぱい回す。

8. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。

9. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。

※水抜き完了後は必ず水抜コックを確実に閉めてください。

# 日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

## 吐水口のお手入れ

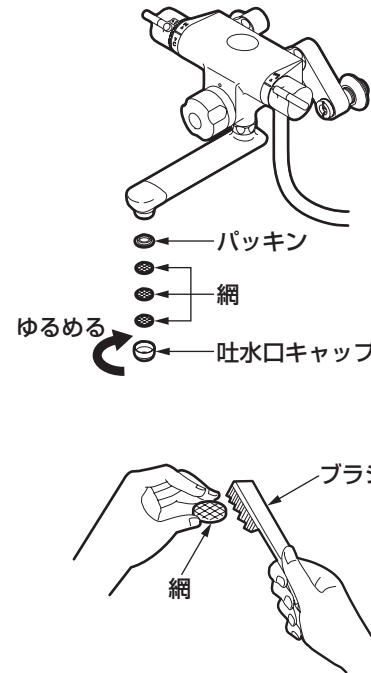
### 1. 吐水口キャップを回して外す。

外れない時はゴム手袋などを使用して外してください。

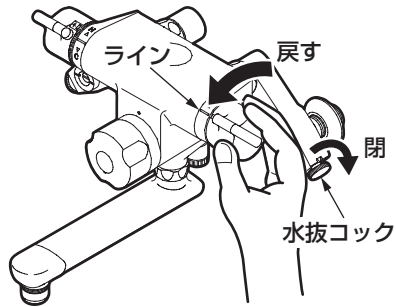
### 2. 吐水口キャップや網に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。

### 3. 吐水口キャップに網・パッキンを入れ、取り付ける。

※分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。

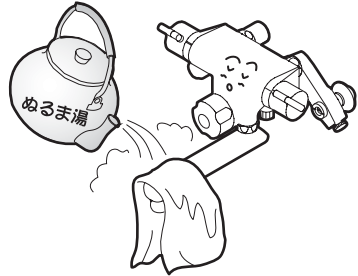


## 通水を再開する場合



すべての水抜コックが閉まっていることを確認し、切替ハンドルのレバーを水柱本体のラインの位置（水が出ない状態）に戻してから通水を再開してください。

## 水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合

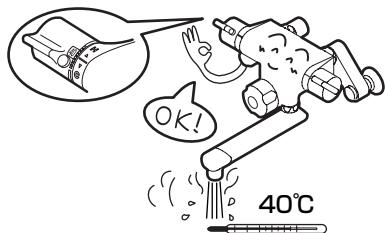


水抜きを行っても吐水口の網目やフィルターに付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。そのときはタオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

## 長期間使用しないとき

長期間使用しないときの急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

## 万一、凍結した場合

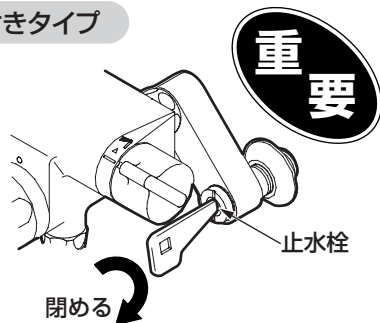


万一、凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度がっているか確認してください。凍結すると、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



## フィルターのお手入れ

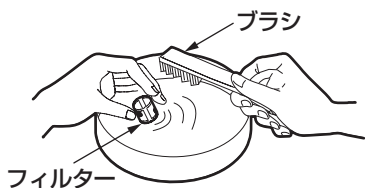
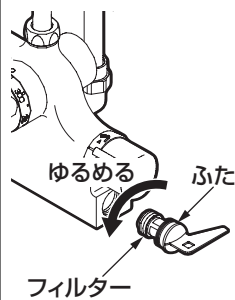
壁付きタイプ



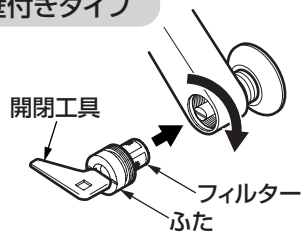
壁付きタイプ



台付きタイプ



壁付きタイプ



1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。

台付きタイプの場合は元栓を閉めてください。

2. 開閉工具をふたの溝に差し込み、ゆるめてフィルターを取り出す。

※フィルターは、湯側・水側の2カ所あります。

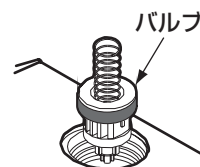
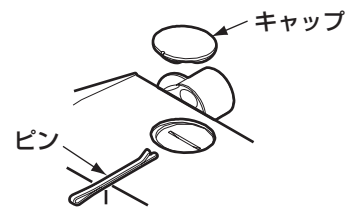
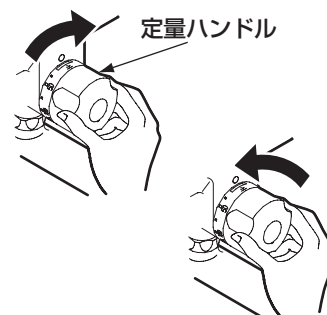
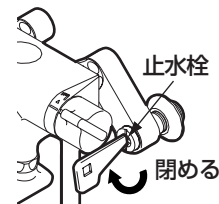
※湯側フィルター部が熱くないことを確認してください。

3. フィルターに詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。

4. 壁付きタイプ  
フィルターをふたに組み付ける。

5. ふたを取り付け、止水栓または元栓を開ける。

## 自動バルブのお手入れ



1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。

※台付きタイプは元栓を閉めてください。

2. 定量ハンドルを時計回りへ回し、水が出ないことを確認する。

3. 定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。

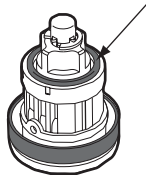
4. 壁付きタイプ  
本体上面のキャップをピンなどを使って取り外す。

5. バルブカバーを開ける。

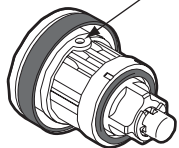
※台付きタイプは左側面にあります。

6. バルブ部を取り出す。

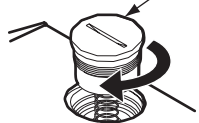
シートパッキン



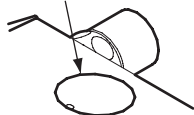
小穴



バルブカバー



キャップ



止水栓



7. シートパッキンにごみかみがないか調べる。

8. 小穴が詰まっていたら細い針金で掃除する。(荷札の針金など)

9. バルブ部を水洗いしたあと、元どおりにおさめ、バルブカバーを取り付ける。

10. **壁付きタイプ**  
本体にキャップを取り付ける。

このとき、切り欠き部が正面になるように確実にはめ込んでください。

11. 湯側・水側の止水栓を開ける。

※台付きタイプは元栓を開けてください。

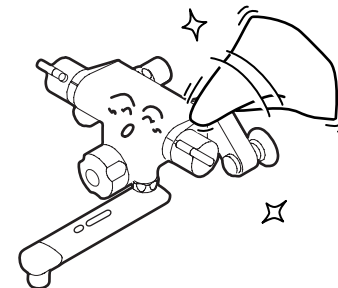
## 布を使用したお手入れ

### ●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

### ●ひどい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。



## TOTO水あかクリーナーでのお手入れ

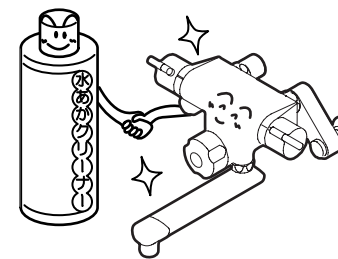
水栓の表面に付着した水あかなどの汚れ落としには水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去できるTOTO水あかクリーナーのご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先：  
TOTOショールームまたはTOTOパーツセンター

商品品番：TH735

容量：260g

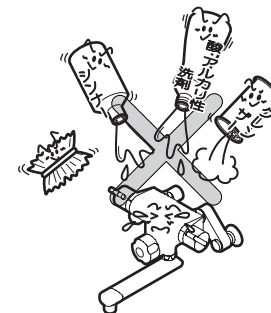
※仕様・品番は変更する場合がありますのでご了承ください。



### お願い

水栓の表面を傷つけるものは使用しないでください。

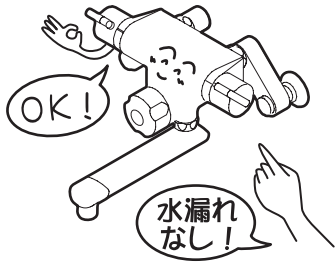
- TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど



# 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

## 配管まわりの水漏れ (年2回)

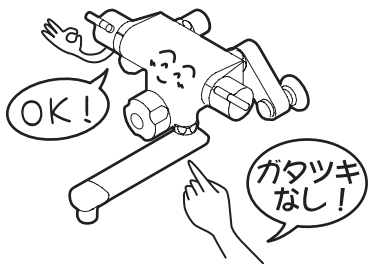


配管まわりの水漏れがないか確認する。

劣化・摩耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め(P.29参照)、お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

## 本体部のガタツキ (年2回)

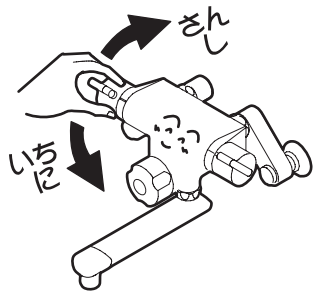


本体部のガタツキを確認する。

本体部にガタツキがあるままお使いになると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

本体部にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

## 温度調節ハンドルの操作性 (月1回)



ときどき温度調節ハンドルを回す。

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

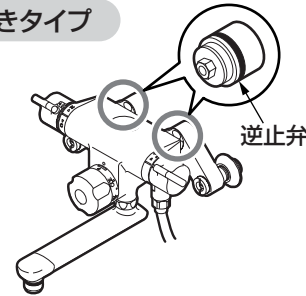
動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

# 定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

## 逆止弁の交換

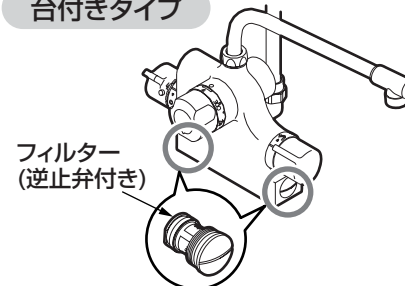
壁付きタイプ



逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。

逆止弁の交換は、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)へ依頼してください。

台付きタイプ



東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合、修理料金は、**技術料** + **部品代** + **出張料**がかかります。

※ご依頼されたアフターサービスの履歴をメモしておくくと便利です。

年月日	サービス内容	担当者

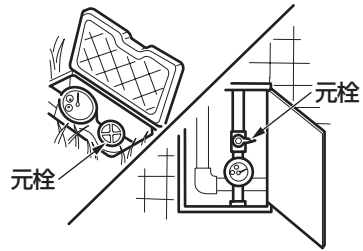
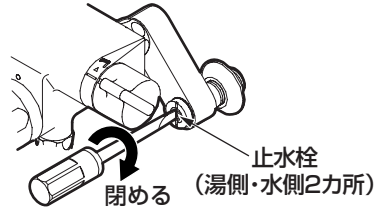
お手入れ

お手入れ

# 故障かな?!と思ったら

## 緊急時の水の止め方

配管まわりの水漏れや、水が止まらないなど、緊急を要するときは下図の要領で止水栓または元栓を閉めてください。



マイナスドライバーを差し込み、湯側・水側の止水栓を閉める。

それでも止まらない場合は元栓を閉める。

●次のような場合は、故障ではありません。修理を依頼される前に以下のことをお調べになり、それでも直らないときは、**お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)**へ修理を依頼してください。詳しくはアフターサービス(P.32)をご確認ください。

修理を依頼される前に			
現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
水が止まらない	シャワー開閉ハンドルは止水位置に合っていますか。(全閉になっていますか。)	シャワー開閉ハンドルを止水位置に合わせる。	13ページ
	定量ハンドルの目盛り"止"がポイント位置とずれていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	13ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	13ページ
	シート部にゴミが付着していませんか。	自動バルブの掃除をする。	24・25ページ
	バルブの小穴が目詰まりしていませんか。	自動バルブの掃除をする。	24・25ページ
	シャワーからの水垂れはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるものです。故障ではありません。	—	13ページ
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口・フィルターの掃除をする。	22・23ページ
	ガス給湯機と組み合わせてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか。	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする。	—
	吐水口・フィルターは凍っていませんか。	吐水口・フィルター部分にぬるま湯をかける。	21ページ
高温しか出ない	水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ
低温しか出ない	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。	—

お手入れ

こんなときは



# アフターサービス

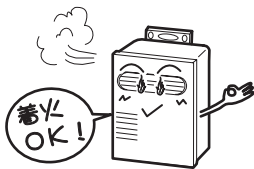
修理を依頼される前に			
現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
低温しか出ない	湯側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ
	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。	—
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口・フィルターの掃除をする。	22・23ページ
湯量が大きく違う	温度調節ハンドルの設定は合っていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。	10・11ページ
	湯量の設定を間違えていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	15ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	13ページ

止水栓の位置がわからない場合は、「各部のなまえ」(P.7)を参照してください。または、お求めの取付店にお問い合わせください。

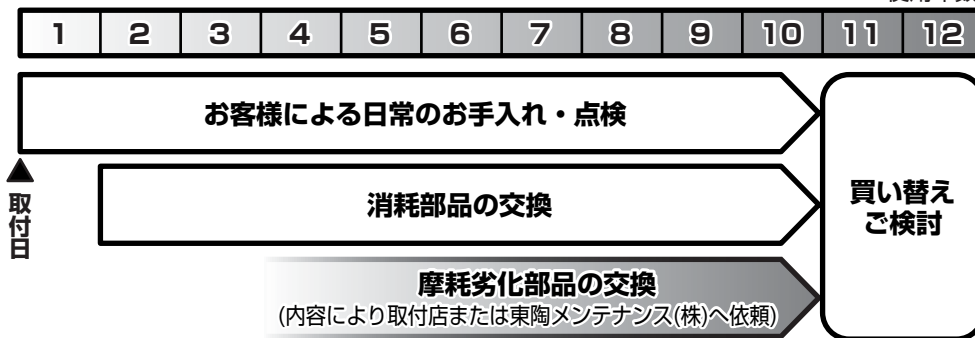
## 豆知識

### 低水圧用シャワー使用時の注意事項

瞬間式給湯機の場合、給水温度の高い夏場において、吐水量を少なくして使うと給湯機が着火しないことがあります。この場合には、給湯機の設定温度を下げてください。



使用年数



【修理を依頼する前に「故障かな? !と思ったら」(P.29)をご確認ください!】

## 保証書 (この説明書のP.34が保証書になっています)

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日、取付店(または販売店)名、扱印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

## 保証について

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付ラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。→「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」(P.33)をご確認ください。

## 部品の交換について

無料修理により交換された交換前の部品・商品は東陶機器(株)の所有となります。

## 補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの)の供給期間は製造中止後10年です。

## 摩耗・劣化する部品の交換

- バルブやパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
- 摩耗・劣化部品の交換は、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)へ依頼してください。

## 修理を依頼されるときは

### 【修理依頼先】

お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)

### 【ご連絡いただきたい内容】

- ①住所、氏名、電話番号
- ②商品名 ③品番 ④取付日
- ⑤故障内容、異常の状況  
(どこから水漏れしているかなど)
- ⑥訪問希望日

### 【お客様の個人情報のお取り扱い】

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。

詳細は、TOTOホームページ (<http://www.toto.co.jp/>) をご覧ください。

### 【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTOお客様相談室」または「東陶メンテナンス(株)」

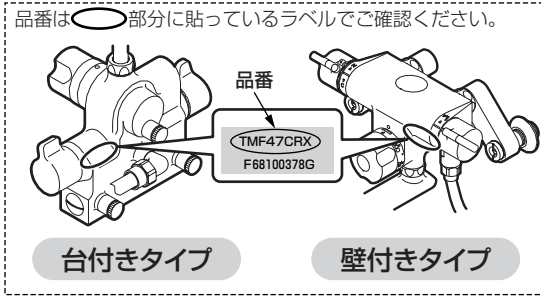
## 修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品代です。

**出張料** は、商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。



# TOTO®

## 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店(または販売店)、または東陶メンテナンス(株)(TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02)に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様	商品名	サーモスタットシャワー金具・バス水栓	
	おところ			〒	品番
取付店/販売店	〒	電話	-	保証期間	取付日/ご購入日から2カ年
取付日/ご購入日		年	月	日	

### ★お客様へ

・この保証書をお受け取りになるときに、取付日、取付店(または販売店)名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。

- (1) 上記用途以外で使用した場合の不具合。
- (2) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
- (3) 弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
- (4) 建築躯体の変形などに起因する商品の不具合。
- (5) 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
- (6) 金属の腐食しやすい環境(海岸付近、温泉地など)に起因する不具合。
- (7) ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
- (8) 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
- (9) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
- (10) 部品(乾電池など)の消耗による不具合。
- (11) 日常のお手入れ箇所(フィルターなど)や水栓金具などのOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
- (12) 砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
- (13) 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
- (14) 凍結に起因する不具合。
- (15) 本書の提示がない場合。
- (16) 本書にお客様名、取付日、取付店(または販売店)名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について

無料修理により交換された交換前の部品・商品は、東陶機器(株)の所有となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室または東陶メンテナンス(株)にお問い合わせください。

## 東陶機器株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1  
お客様相談室 TEL ☎0120-03-1010 FAX ☎0120-09-1010